

平成20年9月12日		第1回 富士見市下水道事業審議会会議録	
会議日時	平成20年9月12日 開会 午後1時25分 平成20年9月12日 閉会 午後3時55分		
会議場所	富士見市役所内 市長公室		
出席者数	委員定数 10名の中 9名		
出席委員	会長	平井 允	委員
	職務代理	林 三喜	委員
	委員	井上 幸雄	幹事 関 繁雄
	委員	倉原 政善	
	委員	後藤 昭子	
	委員	清野 善雄	
	委員	齊藤 重治	
	委員	田中 悦子	
	委員	宮本 春雄	
	委員		
委員			
欠席委員	三枝 晴子		
議長	平井 允	担当書記	佐藤 昌明 馬場 和代
説明者	紫 関 副部長兼下水道課長、高橋 副課長、島村 副課長、星野 主査		
署名委員	議長	_____	
	委員	_____	
	委員	_____	

会 議 事 項
<p>< 委嘱状交付式 ></p> <p>1. 委嘱状の交付 (審議会に移る前に) 審議委員自己紹介</p> <p>< 審議会 ></p> <p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 会長の選出について 会長 平井 允 委員 が選出される。</p> <p>4. 会長あいさつ</p> <p>5. 会長職務代理者の指名について 会長職務代理者 林 三喜 委員 が指名される。</p> <p>6. 会長職務代理者あいさつ</p> <p>7. 会議録署名委員の指名について 井上 幸雄 委員、倉原 政善 委員が指名される。</p> <p>8. 会議の公開・非公開の決定について ・公開とする。</p> <p>9. 諮問 (市長より会長へ) 諮問書朗読</p>

会 議 事 項

10. 議 事

下水道事業再評価について（諮問事項）

事務局より諮問事項の審議会における処理を時系列で説明。（高橋副課長）

事務局より配布資料の説明。（島村副課長）

- ・ 富士見市公共下水道事業 事業概要
- ・ 富士見市公共下水道事業 事業再評価
- ・ 富士見市公共下水道事業 今後の整備の考え方

< 質 疑 >

（質） 不明水の状況について説明を求める。

（答） ・ 晴天時、雨天時の汚水流入量の状況及び流域自治体の取り組みを説明する。
・ 汚水逆流のメカニズムと対策（逆流防止用ポンプ）について説明する。

（質） 事業概要 5 ページの整備状況と接続状況の差について説明されたい。

（答） 整備人口は、下水道本管が埋設され、宅地内の排水設備工事を実施することで接続が可能な人口であるのに対して、水洗化人口は実際に排水している人口です。

（質） 県内の整備状況について聞きたい。

（答） 県内の整備状況（普及率）を説明する。（平成 19 年度末）

1 位 志木市 98.5% 2 位 朝霞市 96.5% 3 位 和光市 95.5%

4 位 三芳町、蕨市 94.7% 6 位 新座市 93.6% 7 位 富士見市 93.0%

となり、荒川右岸流域関連市が上位を占めています。

（質） 雨水の整備状況が低いのではないか。

（答） 雨水については、全体計画整備率で12.7%となっていますが、調整区域も含めた面

会 議 事 項

積であるため、低くなっています。整備は被害が想定される市街地を重点に進めている現状です。

雨水対策は、下水道事業と河川事業のほか、宅地内は地下浸透で処理するよう開発許可事務の一環として指導するなど、各分野で分担して行っています。

（質） 下水道事業からは外れると思うが、雨水の再利用の取り組みはどうなっているか。

公共施設、家庭での利用促進はどうか。浸透マスが道路側溝に使用している実績はあるのか。

（答） 学校の校庭や道路、歩道の一部で地下浸透施設の設置を進めています。

公共施設での再利用はまだ不十分ではありますが、市民文化会館キラリ ふじみで雨水を貯留して再利用をしています。

（質） 環境面からも市内の湧き水は貴重であり、市民会議でも現況調査を実施している。

地下水の涵養につながる雨水の地下浸透について、市はどのように市民にアプローチしているか。

（答） 下水道課では行ってはおりません。

（質） 温暖化に伴い各地でゲリラ豪雨が起きており、下水の事故も起きたが対策防止策は考えているのか。

（答） 水害については、市の防災計画で対応すると考えている。またいわゆるゲリラ豪雨については被害が現在のところ出ていない状況であるが、今後はそれらについても検討が必要と思われる。

議長（会長） 意見・質問でなく感想でもよろしいのでお願いします。

会 議 事 項

(感想) 雨水の再利用がキラリで利用していると聞き、刺激になった。

下水はなかなか目に見えないが、そういうところこそ大事だと思った。

(感想) 汚水の中に雨水が入り込む問題については相当改善されてきてはいるが、更に細かな災害対策を望む。

(感想) 皆さんの話を伺い、下水道がいろいろな面で重要であると感じた。

(感想) 雨が降ると畑や田には水がたまるが、これがもし全部住宅地だったら雨が一気に河川に流れ込み河川が増水する。農地の役割を皆さんにもぜひ知ってもらいたい。

特環事業については、宅地面積が広いため公共下水道に接続するには費用が掛かりすぎて、接続しない家が多いと聞く。事業の効果が薄いのではないか。

新河岸川は随分きれいになり、下水道整備の効果は大きいと思う。

(質) 雨水浸透マスとは、何ですか？豪雨により畑の土が路上に流れ出て困っている。

(答) 水を通しやすい柵のまわりを砂利で埋めたもので、雨水が樋を通して柵に集まってきたとき、地下に浸透しやすくなっている柵のことを言います。

次回開催日程について

次回開催は、9月29日(月)午後1時30分からに決定

その他

・次回の資料として、費用効果分析の詳しい資料をお願いしたい。(P5)

・雨水の浸水被害額についての詳しい資料をお願いしたい。(P3)

会 議 事 項